



黄金の森

2023年 10月 6日発行
南風原町立 南風原中学校
発行者 校長 比嘉智也
校長だより第12号

【教育目標】 目標を持ち自ら学ぶ生徒 心豊かで思いやりのある生徒 心身ともに健康で忍耐力のある生徒

『今、あなたはどこを見えていますか?』

今年度も半年が過ぎました。1年の折り返し点です。来週には合唱コンクールが実施されます。皆さんの神音(ゴッドサウンド)が黄金ホールに解き放たれることを期待しています。各学年とも素晴らしいハーモニーを奏でてください。また、これから3年生は進路選択、1・2年生は次の学年への取り組みが始まります。しっかりと自分なりのゴールをもった生活をしていきましょう。

「ウサギとカメの法則」

ウサギが負けてカメが勝った。
その勝敗はスタートする前から決まっていた。

【相手を見ていたウサギ】 VS 【自分の決めた目標を見ていたカメ】
見ているところのちがいが勝敗を決めた。



「どうしてウサギはカメに負けたのか。どうしてカメはウサギに勝ったのか、知っていますか？」
子どもの頃から、あまりに有名な童話です。ウサギは油断して昼寝をしてしまった。
カメはコツコツと歩みを進めて、ウサギを追い抜いてしまった。



しかし、これが思わぬ結果をもたらした**本当の理由**ではないのです。

では、いったい何なのでしょう。

わかりやすくいえば、ウサギとカメでは、

「見ているところが違った」ということです。

ウサギは何を見ていたのか。ウサギは、カメを見ていました。

だから、ノロノロとやってこないカメに、油断をしてしまったのです。

対する**カメ**は何を見ていたか。ゴールを見ていたのです。

もし、カメがウサギを見ていたら、昼寝をしているウサギを見て、自分も休んでしまったかもしれません。ところが、カメはそうしなかった。ゴールを見ていたからです。

言わんとしているところは、ゴールは何かをしっかりと見極め、まわりや競争相手に惑わされることなく、ゴールを見ることの重要性なのです。レースの**本質をしっかりと捉える**、ということ。

カメはゴールを見ていたから、歩みは遅かったけれど、足の速いウサギに勝てた。

「見ているところが違った」から、この結果が生まれたのです。

ハッとさせられる話ではありませんか。もしかしたら、これは皆さんの普段の学校生活や将来の仕事、人生にも言えることだと思いませんか。

学校生活では、テストや受験に向けた勉強、進路選択、仕事では商品開発をすることや受注すること、就職活動や出世競争、将来のために貯蓄することなどなど……。

あなたが「見ているところ」は現在や将来に向けて正しいところを見えていますか、ということです。

ゴールを見ずに、隣ばかり、周囲ばかりを見てしまう。しかし、それがもたらすのは、カメに負けたウサギと同じように、自分が望まない残念な結果になる可能性があるのです。



その前に、考えなければならないもっと大事なことがあります。それは、あなた自身は自分なりのゴールをちゃんともっているのか、ということです。

ゴールが定められていなければ、どこに向かおうとしているかわからなくなります。あなたには、現在のゴールや将来のゴールのようなものがありますか。『今、あなたはどこを見えていますか？』

ある経営者はこうも語っています。人生は、大海原に漕ぎ出す船のようなものだ、と。ゴールがないとはつまり、大海原に出るのに寄港地が決まっていない、ということ。



寄港地の決まっていない船は、いったいどこに向かうのか。ただ、船を走らせるか、浮かべているしかないわけです。

そんなことでは待っているのは、それこそ漂流か難破になってしまいます。なにしろ、行くべき港がないのですから。

これでは航海、つまり人生がはうまくいくはずがない、ということになります。

ですから、皆さん、現在や将来の『幸せ』というゴール(目標)をしっかりと見極めて、充実した生活をしていきましょう！



校長クイズ

- 1 ホテルにロビーが設けられていない都市はどこ？
- 2 沖縄、東京、北海道でスピードの速いバスはどこ？

前号クイズの解答

- 1 もも
- 2 ステーキ